

第 49 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	石田ゼミ II	チーム名	BTS
タイトル	K-pop が Billboard で 1 位を取れてなぜ J-pop は取れないのか		
テーマ群	e)産業・企業、g)その他		
メンバー			
研究計画内容	<p>研究の背景と目的：2018 年、米国でもっとも権威のある音楽チャートである「Billboard200」に韓国の 7 人組ボーイズグループ・BTS(防弾少年団)が初登場 1 位に輝いた。これは韓国人アーティスト史上初の快挙であり、「Billboard200」に限って言えばアジア人では実に 12 年ぶりとなる出来事であった。Billboard には代表的なものでシングルチャートの「Hot 100」、アルバムチャートの「Billboard 200」があり、日本人では坂本九の「上を向いて歩こう」を「sukiyaki」という名で 1963 年にリリースし「Hot 100」で 1 位を記録した。しかしそれ以降は日本人が目立った成績は無く、逆にここ数年では K-pop と呼ばれる、韓国の音楽の台頭が目立つ。2019 年には SuperM がデビューと同時に「Billboard 200」で一位を獲得した。ここで私達は K-pop が世界で評価され、J-pop はなぜ評価されないのか、疑問に感じ資料や論文を用いて調査を行った。その結果、韓国の音楽的感性の変化、先端技術を取り込む多様性、完成度を上げるための独自のデビュー制度が K-pop 躍進の鍵であることが分かった。これらのことが分かった今、日本は韓国の音楽戦略から学ぶべきことがあると思い研究を行うことにした。</p> <p>研究の内容と期待される成果：日本と韓国の音楽戦略の違いとその効果を調べるために、両国での過去から現在までの音楽性の変化、文化論の違いから見えてくる音楽特性を調べる。また第一次 K-pop ブームから現在の第三次 K-pop ブームまでの特徴の変化を調べた上でその頃の成功の要因を J-pop の当時と比較し分析する。これらの方法で、日本と韓国の音楽戦略での違いを判断し、日本の音楽戦略に必要な要素を導き出す。この研究によって、今後の J-pop の世界的躍進への鍵が明らかになり、日本の音楽産業の発展につながると私達は考える。</p>		